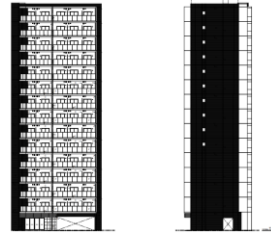


# CASBEE®名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 総合評価 2016年版、名古屋環境エネルギーセンター 名古屋環境エネルギーセンター 名古屋環境エネルギーセンター 名古屋環境エネルギーセンター 名古屋環境エネルギーセンター 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |                 |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)名古屋市中区千代田三丁目新築工事 | 階数     | 地上15F           |
| 建設地      | 愛知県名古屋市中区千代田三丁目2510番 | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 市街化区域、防火地域           | 平均居住人員 | 100 人           |
| 地域区分     | 6地域                  | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2028年2月 予定           | 評価の実施日 | 2026年4月14日      |
| 敷地面積     | 408 m <sup>2</sup>   | 作成者    |                 |
| 建築面積     | 187 m <sup>2</sup>   | 確認日    | 2026年4月16日      |
| 延床面積     | 2,363 m <sup>2</sup> | 確認者    |                 |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア=2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア=2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア=2.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.0

| 3 設計上の配慮事項   |  |                                      |
|--------------|--|--------------------------------------|
| 総合           | ・周囲の街並みに調和する色調とした。   | その他<br>・特になし                         |
| Q1 室内環境      | ・F☆☆☆☆建材を積極的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染の回避に努めた。<br>・断熱等性能等級4を満たし外界からの熱的侵入の抑制に配慮した。 | Q3 室外環境(敷地内)<br>・防犯カメラを設置し、防犯性に配慮した。 |
| LR1 エネルギー    | ・高断熱、高効率設備を採用し省エネルギーに努めた。  | LR3 敷地外環境<br>・緑地を設け、地表面の温度上昇の抑制に努めた。 |
| Q2 サービス性能    | ・PF管を採用し構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができるよう配慮した。                             |                                      |
| LR2 資源・マテリアル | ・PF管や二重天井により建物の更新性に配慮した。   |                                      |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)名古屋市中区千代田三丁目新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 重点項目            |                 | 評価            | 全体に対する重み係数 | 重点項目スコア    |
|-----------------|-----------------|---------------|------------|------------|
| <b>1. 温暖化対策</b> |                 |               |            | <b>3.4</b> |
| LR1             | エネルギー           | 3.6           | 0.4        |            |
| LR3.1           | 地球温暖化への配慮       | 3.1           | 0.1        |            |
| LR3.2.2         | 温熱環境悪化の改善       | 3.0           | 0.05       |            |
| <b>2. 自然共生</b>  |                 |               |            | <b>2.3</b> |
| Q3.1            | 生物環境の保全と創出      | 2.0           | 0.09       |            |
| Q3.3.1          | 地域性への配慮、快適性の向上  | 地域性のある材料の使用※1 | 無          | 0.009      |
| Q3.2            | まちなみ・景観への配慮     |               |            |            |
| Q3.3.2          | 敷地内温熱環境の向上      | 3.0           | 0.045      |            |
| <b>3. 循環型社会</b> |                 |               |            | <b>3.0</b> |
| LR2.1           | 水資源保護           | 2.2           | 0.06       |            |
| LR2.2           | 非再生性資源の使用量削減    | 3.3           | 0.18       |            |
| LR3.2.3         | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 3.0           | 0.01875    |            |

## 結果

|  |           |
|--|-----------|
| <b>1. 温暖化対策</b>  | 評価点 = 3.4 |
|  |           |
| <b>2. 自然共生</b>   | 評価点 = 2.3 |
|  |           |
| <b>3. 循環型社会</b>  | 評価点 = 3.0 |
|  |           |

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。